

鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説 (平成 27 年 9 月 11 日)

【四三】子張曰く、書に云う、高宗 諒陰 三年 言わずとは、何の謂ぞやと。子曰く、何ぞ必ずしも高宗のみならん。古の人 皆然り。君薨ずれば、百官己を総べて、以て冢宰に聴くこと三年と。

子張が、書経にある殷の君主であった高宗が喪に服す時、三年間口を聞かない天子では周りが困るのではないかと孔子に聞きました。孔子は、高宗だけではなく昔の人は皆同じく一般でも父母が亡くなった三年間は服喪をする。君主が亡くなった場合は、そこに勤めている役人たちは、みな自分の仕事をすべて総理大臣に聞きながら処理をしていくから、皇帝が口を聞かなくても大丈夫である。

今の日本で見れば、昭和天皇が亡くなりました。皇太子が次の天皇になられて三年間一言も口を聞かなかった。三年間天皇が口を開かなくても、内閣総理大臣がいれば安心だと置き換えて考えられますが、これはあり得ないことです。現在は安倍さんが長いけれども、その前までの総理大臣は一年毎にころころ交代していますので、こういう状況にはならないと感ずります。

【四四】子曰く、上 礼を好めば、則ち民 使い易し。

これは以心伝心という感じがしますし、途中の言葉が抜けているとも感ずります。

孔子が言うには、内閣総理大臣などの人間が礼式を好めば、行動に品格が出るし、節度が出てくる。国民のレベルが上がってくる。上の人間が礼を好むことによって、一般の国民のレベルが上がる。だから、上の人間が国民を見た場合、国民はお上を敬うようになるから、自然と国民を使うときには使いやすくなると捉えればよいでしょう。

今の時代にあわせてみれば、安倍内閣の人達は、礼儀を好んでいるかと言えば、なかなか好んでいません。もっとも今の政治家は支持率で一喜一憂しますから、今は下がっているところなので安倍さんはハラハラしていると思います。アベノミクスも第二ステージに入ったという誤魔化しを言っていますので、これからはつるべ落としで落ちるのだらうと思います。けっきょく野田さんを対抗馬に立てないで、推薦人を無理やり引きずり落とす動きばかりして、対抗馬が立たないように裏で工作しすぎたのが、国民から見ると丸見え。上は礼を好んでいないということが現代の状況だと思ひます。「則ち民 使い易し」裏側が

透けて見えるから、国民はとても安倍さんの思うようには向かないだろと思います。さらに消費税がアップしますし、アップするものも野党がいろいろ相談したものを財務省がひっくり返しましたから、あれも一体何をやっているのか。上からみれば国民は使いづらい状況にきていると思います。